

# 止戈樞要

醫療

百四十之一

農商省  
圖書  
和  
第 二 九 六 六 號  
共 一 四 九 冊

大政官文庫  
和書門  
一〇九四四  
一四三冊架函辦

內閣文庫  
和書  
一〇九四四  
五四函架  
四三四

內閣文庫	
番號	和 10944
冊數	143 ( 49 )
函號	154 28



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM Kodak





止戈樞要

醫療

百四十一

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 止戈樞要, 醫療, and 百四十一.



山文魁要  
醫藥部四十八



正戈樞要卷百四十  
師律要畧

從位行佐守丹  
人增業著

金醫療一  
其負何療治  
最軍中士卒

夫金瘡手負  
必用元古名將  
勇士必其

卒二施用  
其奇方諸書  
又邊士

農家等  
口伸二散  
在沙一事  
ノ用



テ即坐ニ得ヤスキ古代ヨリ民間  
ニ傳ル処ノ草木鳥獸或ハ虫魚ノ  
一二味ヲ以テスル方ヲ記ス然レ  
其數多アレハ委ク書スニイトマ  
アラス只其二三方ヲ記ス金瘡ノ  
療治ノ藥物ハ南蠻ノ藥品最レ其  
奇功アリト云故金瘡ノ部末ニ別  
ニ其藥ノ用ニル外科ノ次第ヲ畧  
記ス金瘡部前後ヲ管見シテ可弁  
ナリ

テ即坐ニ得ヤスキ古代ヨリ民間  
ニ傳ル処ノ草木鳥獸或ハ虫魚ノ  
一二味ヲ以テスル方ヲ記ス然レ  
其數多アレハ委ク書スニイトマ  
アラス只其二三方ヲ記ス金瘡ノ  
療治ノ藥物ハ南蠻ノ藥品最レ其  
奇功アリト云故金瘡ノ部末ニ別  
ニ其藥ノ用ニル外科ノ次第ヲ畧  
記ス金瘡部前後ヲ管見シテ可弁  
ナリ



手負療治之大概  
戰場ニテ醫ノツカサ  
先血留薬ヲホトコシ  
疵ヲ洗ヒ突疵矢疵十  
シニテ洗フ血夕マリ  
スヘシ最其前方見合  
内薬ヲ用ヒ其後膏薬  
テ流シ入レ其上ヲ煮  
膏薬ヲ塗フ夕トシ其  
カト卷結ヒ置キ翌日  
打

カユヘシ切疵十ヲハ  
見手拭ヲシヨウウキ  
三返手早ニ洗血溜十  
疵ヲ押合セ中ニ系ヲ  
結ヒ置大疵十レハ一  
間ヲ置テクイチカハ  
拭ヘシ一針宛ニテ結  
數ハ半ニテ留ム深疵  
ル止ラサレハ下ニナ  
ヲシメツ二日モ有テ  
後ニ台へ



シ糸ノ事ハ細キ麻糸ニ藥ニ添  
テ用ユ其上ニ膏藥ヲ卷糸ヲ拔  
ユトハ三日目ヨリ七日目迄ノ  
内疵ノ大小ニ依テ考ヘシ一筋  
ヲキニ解先拔膏ヲ打置翌日又  
打カユハシ一方ヲ長クシテヲ  
ケハ大方膏藥ニ附テ拔ルナリ  
洗フ事ハ如前ナリ虫ノワク事  
アリ其時ハ蕎麥ノカラノアク  
ニテ洗フアトハ如初若骨ク夕

ケ夕ラハ能ク骨ノカクヲ出シ  
テ療治セヨ残り有レハ痛ニテ  
害トナル腦ヲ損シ腸出テカハ  
キ夕ルハ療治ノ方有之トモマ  
ツ療治スヘカラス玉疵打抜ハ  
前後ヨリ洗ヒ中少シ殘シ膏藥  
ヲモヤシニ差ヘシ玉コモリア  
サクハ口ヲ十文字ニ割テ出ス  
深キハ出スニ不及其内骨ノツ  
カケ杯ノ害ニ成所ナレハ口ヲ



開キ可出痛公氏クルシカラズ  
 此時付ル膏十ク小鶏卵ヲ用ユ  
 戰場ニ手負ヲ引截ル時ヒ力ハ  
 緒ニテシカト疵ヲ卷キ反力  
 ハラサル様ニシテ手足ノフツ  
 カ弁ル様ニシテアトノ療治ノ  
 ナリヨキ様ニ所ヲ考ヘ陣補子  
 亦ハ家来ニ渡スヘシ出  
 手負内薬 七氣壽明散ト云

藜 十兩 切疵 六兩 煎 四兩 干 薑  
 右 十兩 川骨 兩 七兩 之 沈香  
 四兩 大角豆 四兩 于 鮭  
 右 細末 阿羅魚 香 三兩  
 右 細末 一兩 宛用 二又 黒  
 左 燒 二シテ 貯 へ 可 持 七 知 製 方 記  
 突疵 八兩 川骨 景 八兩 沈香  
 六兩 十八大角豆 四兩 于鮭



四兩 阿羅魚 三兩 四兩 矢疵 如上文 最二兩 目服之

藥 十兩 川骨 八兩 沈香 于鮭

四兩 阿羅魚 三兩 用 沈香 于鮭

四兩 打疵 如前 用 沈香 于鮭

七兩 九兩 川骨 十兩 沈香 于鮭

四兩 阿羅魚 四兩 目服之

右 細末 一兩 目服之

一 六味 各黑燒 一說 二 搗目

温酒 或 八 塩湯 二 用 二 八 塩

四季 二 日 加藥 夏 八 大黃 又 烏黑燒

秋 八 芍藥 又 黑猫黑燒 冬 八 茯苓

夏 八 土用 二 八 烏 八 黑燒



腫氣二八十八大角豆川骨各一  
腹下二八川骨ヲ去リ芍薬ヲ加  
ヲ加フ又沈香ヲ去リ烏ノ黒  
頭痛二八川芎ヲ加フ又川骨中  
病ノ症ニヨツテ去加ノ方ア  
右八時節ニヨツテ加ル十

兩ヲ加フ又沈香ヲ去リ烏ノ黒  
燒ヲ加フ又沈香ヲ去リ烏ノ黒  
熱氣強ニハ烏薬ヲ加フ又  
惣身痛ニハ烏ノ黒燒ヲ加ハ木  
香ヲ去ル  
風疹ニハ烏ノ黒燒十八大角豆  
各一兩ヲ加フ又木香十八大角  
豆各一兩加フ淋病ニハ阿羅魚  
一兩ヲ加フ吐逆ニハ十八大角豆ヲ去リ薬



一兩ヲ加フ  
不食ニハ  
兩ヲ加フ  
疣ヲ瘡ニハ  
振ヒ突フニハ  
眼不見ニハ  
フ虫氣ニハ  
ヲ加フ  
筋痛ニハ  
一兩ヲ加フ  
子莪木三稜各一兩  
阿羅魚干鮭ヲ去ル  
藜三兩ヲ加フ  
川骨各一兩ヲ加  
藜一兩ヲ加フ  
子莪木三稜各一兩

大便ニ血下ニハ  
ヲ増ヘシニハ  
血不止ニハ  
又ハ青シトハ  
脱肛ニハ  
ヲ甘ムカリ  
大黃各一兩  
大疣血不止ニハ  
置テ松ノ三ト  
喉渴セハ  
阿羅魚干鮭  
藜十八大角豆  
猫ノ頭人參少加フ  
黒焼三分加フ  
阿羅魚干鮭  
阿羅魚干鮭  
口ヲ其マ  
二兩加フ



手負腰ハリ疵痛ニハ防風少ヲ  
加フ  
腹ニ色付ハ苺子ノカラヲ煎シ  
酒等分ニ入テ藥ヲ與フ大事ノ  
腹中ニハ酒ヲヒカヘヨ  
角弓反張ニハ乾薑白朮上茶ノ  
末大黃ハラヤ少能焙リテ梅子  
肉斗各一兩加ヘ酒ニテ服ス又  
方藥一兩干薑少加フヘシ  
上焦頭ノ疵ニハ鞠粉ニシテ茶

一服程加フ  
中焦ノ疵ニハ桔梗ハ末ヲ加フ  
下焦ノ疵ニハ栴椰子ノ粉ヲ加フ  
左ノ疵ニハ柴胡ノ粉ヲ加フ  
右ノ疵ニハ升麻ノ粉ヲ加フ  
大事ノ疵腹下ニハシシトウ草  
ミソハキ石榴皮三色等分甘草  
少加フ

藥味製方



藜ハ酒ニ浸シ取上ケ日ニ干代

古用セ工麻

川骨ハ頂ヲ去リ上皮ヲ去リ竹

力ニ判白水ニ三夜浸シ火ニ

テ乾ス八大角豆ハ赤キヲ良十皮

ヲ去リ酒ニ浸ス

沈香ハ黒焼ニスルニ口傳アリ

又沈香ノ代ニ木香ヲ用ユ

阿羅魚ハ于夕ル骨ヲ酒ニ浸シ

用ユハシ

于鮭ハ阿ヲ魚ニ同シ

鳥ノ焼方ハ巴豆七粒人参少口

ニクハハハサセテ焼ク四季土用

ノ内ハ輕粉ヲ少加フ

六味藥性ヲ少加フ

藜ハ血ヲ温メ氣ヲ下シ血不順

ヲ調ヘ筋ヲ夕ス氣ノ遠クト

ルヲ止メ血ヲ在処ハ治上氣ヲ

去リ氣滯ヲ順シテ血ヲ納息血



ヲ去リ筋ヲ強クシ血ヲ順ニス食ヲ進メ手  
足ヲ強クシ血ヲ破リ血ヲ止ム  
川骨ハ血ヲ破リ血ヲ止ム  
十八大角豆ハ大便ノ結スルヲ  
下シ血熱ヲサマス悪血ヲ下シ  
朧ハ血ノ落タル時木目ヨリ多  
ク入テヨシ惡血ヲ下スモ人子  
リ少シケハ虫ニアタル事アリ  
虫強ケレハ皆引ヘシ  
沈香木香ハ氣ヲ冷シテ血ヲ順

百  
ニシ氣血共調ハス氣遠ク成ニ  
ヨシ疵口痛ニヨシ熱氣ニヨシ  
疵臭キニヨシ虫ワクニヨシ疵  
ヒリメクニヨシ吐逆ニヨシ  
阿羅魚ハ血ヲ破リ痛所ヘ引ク  
藥ハ血ノ道ヲ引筋骨ノ痛ヲ止  
メ藥ヲ惣身ニ導ク良藥ナリ  
于鮭ハ氣ヲハリ血ヲ破リ痛ム  
処ヘ引茶ニシテ氣ト血ト茶ヲ  
導ク良藥ナリ



膏藥方

痲瘡腫物

南蠻蠟

八十

一切

出

三升

青木葉

汁

五合

青木葉

百枚

五味

三色

葉

三十枚

右五

色ノ

葉ヲ

ウス

ニテ能

クツキ

一夜置

テシ

ホリ

布ニテ

コシ

去

五合

ニ煉

紙

ニツ

テモ

シテ

トモ

ル時ニ

蠟ヲ

入子

上ル

也ハ

リ々々ト

ハシ

リテ

トモ

レハ

サ

アル

故ナ

リ能

ク煉

上テ

水ニ

付カ

夕ム

ヘシ

中ニ

悪シ

テ

中ニ

水入

ハ

疵癒膏

青木葉

木通

ス

イカ

ツラ

ヲハ

コ

フ

シ

コ

蓮ノ

葉

ユ

ヤ

ナ

キ



栗木屑アマハタ

右十味各等分細末シテ合セホ

青ウロクニ入煎シユルト煉

ルハシ

又方

松脂三十目桑ノセハ桑

柳葉スノ葛蘿

右五味煎シテ白シホリ油ニテ

煉ハシ

吸膏藥

白蠟一味鯨魚油ニテ煉

又方

松脂マツカウ

右二味等分油減ニテ煉合ス

黄

青膏

推シテ痊スノ膏ナリ瘡肉上

リ易シト思フ時用ユ又瘡肉

ニ膿氣アラハ尚用ユハシ

黄蠟五十目牛油十五目



鹿油 廿五匁  
 子ヤン 三十目  
 右六味 緑青 二匁  
 加減 苦酒 五匁  
 煉へ 八匁  
 黄膏 方  
 松 箭疵 砲疵 其外 諸ノ 疵 愈ス  
 黄蠟 二五 十目  
 野菊花 油 一合 五勺  
 没薬 一匁  
 龍腦 二匁  
 麝香 二分  
 五分

二十 五匁 虎骨油  
 廿五 匁 落葉 松脂  
 右 十一 味 二匁  
 龍腦 麝香 八匁  
 火ヨリ 下 加  
 最夏 冬 二匁  
 野菊ノ 油 加減  
 赤膏 方  
 金瘡ノ 方  
 疥膏 二用  
 草根 七  
 油 廿目  
 落葉 松脂 廿目  
 油 廿目  
 油 廿目



十又  
右朱砂  
二  
テ  
加減  
江煉  
工  
上  
如前

白膏  
痲ヲ  
愈ス  
膏  
茶  
十  
リ

白蠟  
五十目  
少  
夕ノ  
油  
十五目

狐ノ  
油  
世  
目  
共  
落葉  
松脂  
十五目

右  
五味  
唐ノ  
土  
二  
テ  
加減  
煉  
八

白黑膏  
金瘡  
又腫物  
二  
力  
キ  
テ  
ス  
痊  
ル

二十  
二  
夕  
力  
ヒ  
粟粒  
ノ  
如  
夕  
十  
ル

黄蠟  
五十目  
生ノ  
櫻皮  
黑燒  
五  
又

青岱  
五  
又  
丹  
荅  
三  
又

右  
五味  
煉  
合  
ス

唐蠟  
十六目  
丹  
十六目



白紋胡麻油 目三十二日 六月

右何レモユルキ火ニテ煉合ス

金瘡腫物ニカキラス疵ノ大小

青ニヨリ晒木綿ヲ疵ニ應シテ切

横付ルナリ二分斗リ此膏菜ヲ

鹿角霜童使ニ浸ス事七度

金瘡血續方總テ血症ノ要菜ナリ

白蛇酒ニ浸シ焙ル加大人参

各一匁 紫檀 七匁 三分 三七

根霜 五匁 百艸霜 五匁

右六味極々細末ニシテ用ユ

鹿角霜ノ細末ニ雞卵ノ白ト交合

七日ニ乾シ又細末ニシテ雞卵ノ白

ト交合ス事三度ニテ如前細末ニ

小キ疵口ナレハ疵口ヲ縫ヒ切リ

赤膏ヲ付其上ヘヒ子リ力クルナ

鹿角霜ノ細末ニ雞卵ノ白ト交合

七日ニ乾シ又細末ニシテ雞卵ノ白

ト交合ス事三度ニテ如前細末ニ

小キ疵口ナレハ疵口ヲ縫ヒ切リ

赤膏ヲ付其上ヘヒ子リ力クルナ

鹿角霜ノ細末ニ雞卵ノ白ト交合

七日ニ乾シ又細末ニシテ雞卵ノ白

ト交合ス事三度ニテ如前細末ニ

小キ疵口ナレハ疵口ヲ縫ヒ切リ



又煮付木綿斗付ルコトモアリ  
疵口ノ軽重ニモヨル事ナリ又  
縫シテカス力使膏茶ヲ用ユル事  
モアルナリ

煮付木綿方  
牛皮五百目生皮ハ殊更生梅皮同  
右水一斗入七升ニ煎シソレヘ  
晒夕ル木綿ヲ小半反入レユル  
火ニシテ煮コト二日斗後ニハ

鉛ノ如クナルナリ其時右ノ木  
綿ヲ取上ケ日ニ乾シ又汁ノア  
ラシカキリ浸シテハ乾シアケ  
砧打シ置クナリ最モ滓ハイツ  
迄モ不取コトナリ

鉄砲矢其外疵洗菜方  
胡麻油一合野菊花但生花廿目  
右油へ埜菊花ヲ入置コト三十



日ヲ經テ緝ニテトヲシユル火  
テテ少シ煉リサメタル時龍腦  
一匁五分入テ突疵矢疵十トモ  
洗フテ不痛ナリ總此洗菜ニテ  
洗フ時ハ疵ノ痛ム事ナシ燒酒  
ニテ洗ヘハ痛ム此洗菜ハ良方  
ナリ前文ニ野菊ノ油ト云ハ此  
油ノ事ナリ合茶ニモ入ル以テ  
リ

鉄砲矢疵ハ愈肉ヲ上ル方  
鶏ノ卵ノ白ニ  
右一味ヲ用ユヘシ

手負血留ノ方  
松ノ緑黒燒一兩古セ麻黒燒  
同 騏驎血末三匁  
右三味粉ニシテ疵ノ口ヘヒ子  
リカクヘシ  
又方



三七 二 二 紫檀 一 土龍

黒焼 二 五 八 霜 二

蒲黄 一 一 一 一 一

右五味細末 一 一 一 一 一

血不止 一 一 一 一 一

押也 一 一 一 一 一

手負禁好物ノ事

手負頭ノ疵ニ忌ムモノ青木葉

トリ又頭ノ疵ヲ洗フ下十カレ

手負疵ノ口へ惣テ酢ハコへノ

汁ヲモ忌ム但疵腫レ痛ム時ハ

各別苦シカラス

手負疵疼ク時ハコマノ油ヨシ

ホメク時ハ酢ヨシ腫ル時ハ

コヘノ汁ヨシ

手負藥ノヨウハ疵ノ大小ニ

ヨラス先七氣ノ黒茶ヲ五包用

ユヘシ病證ヲ見分ケ煎茶ヲ用



三  
二  
一  
手負七種禁食

一  
山イモ 串柳 カラシ 雉子

一  
狸 五辛 コシロノ 三ヤク

手負疵ノフタノ支

青木葉 芭蕉 麻葉

牛房ノ葉

右四色何レモ能々アフリモミ

テ筋トウラノ皮ヲ去リテフタ

ニスルナリ

手負毒立ノ事

一手負毒食ノ事右茶ノ支惣別毒

夕十十シ毒ヲ夕テハ腹中瘦テ

血ユトノ外惡シ毒ヲ用ユル寸

ハ惣身血順通シテ良但七氣共

ニ用ユヘシ

傳云此說甚識見アルノ言ナ



リ又多ク事實ニ係ケテ日用  
ニ試ニ療治ニ達セシ人ノ説  
ナリ如此我國ニモ中古良醫  
アリ今亡之哉  
一 手負ノ疵ニ藥附様ノ更  
一 疵ノアカミニ付テハ疼クモノ  
ナリアカミノ外ハ付テヨシ米  
酢又ハハコヘノ汁ニテモ付  
ヘシ

五 疵ニ愈藥ニカリテテ愈シテハ  
アシ、内藥ヲ以テ治スヘキ  
肝要ナリ腫物モ同前ナリ

手負ニ茶ヲ用ル次第ノ更  
一 骨ノ疵ニハ茶夜細々用ヘシ  
一 皮肉ノ疵ニハ藥畫細々用ヘシ  
一 腰ヨリ上ノ疵ニハ藥一服ニシ  
テ用ユヘシタトヘハ常ノ藥ニ  
テ用ユヘシタトヘハ常ノ藥ニ  
テ用ユヘシタトヘハ常ノ藥ニ



疵  
大服  
元用  
工

元  
元  
元  
元

元  
元  
元  
元

元  
元  
元  
元

元  
元  
元  
元

元  
元  
元  
元

元  
元  
元  
元

元  
元  
元  
元

元  
元  
元  
元

止戈樞要卷百四十終

止戈樞要卷百四十一

從位行佐守丹滌人增業著

醫療二

金瘡心得之十支

一番脉見事二番疵見事三番調藥

事四番針系拈置事五番木綿拈事

六番王子拈事七番酢木綿拈事八

番燒酒温事九番疵洗事十番疵縫